







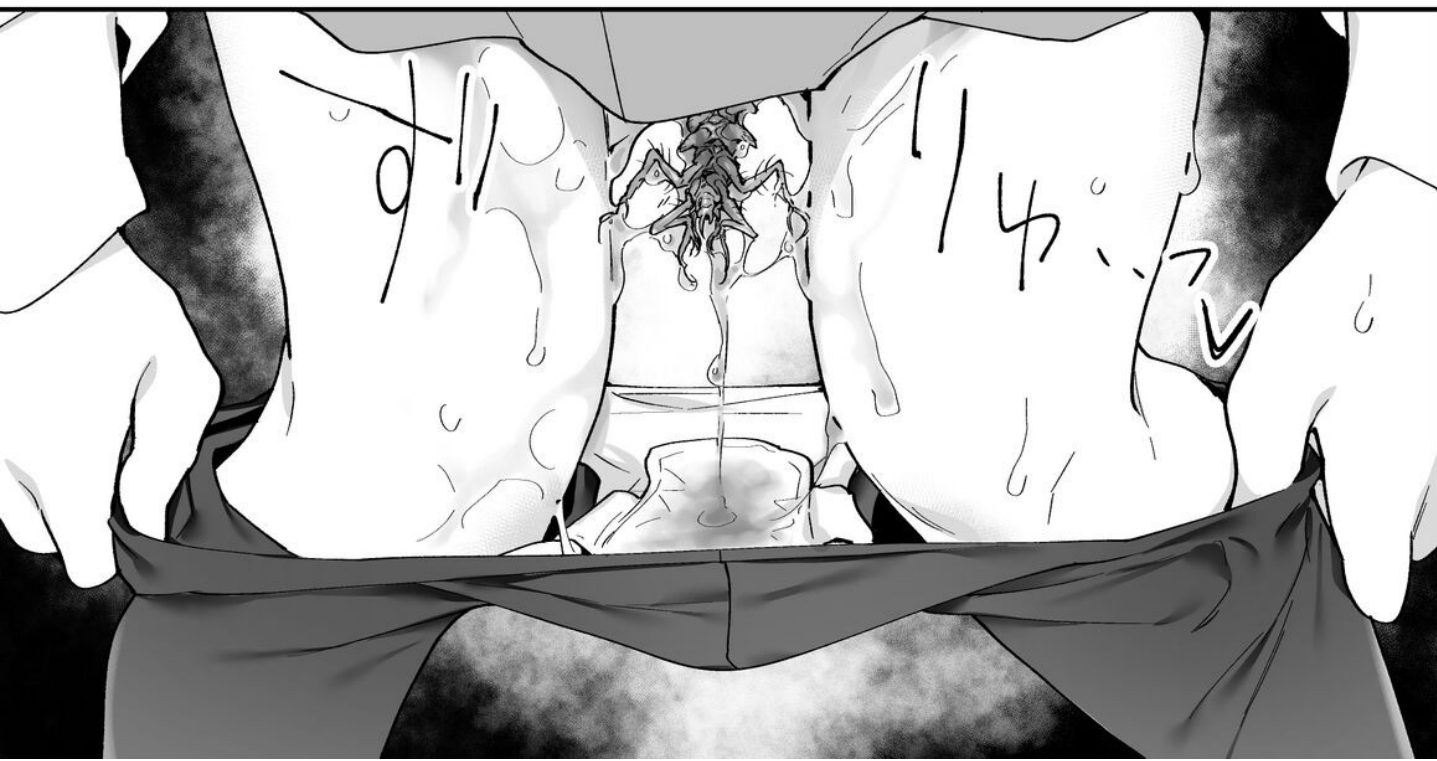
彼はすごく
エッチで…



私を玩具に
して遊ぶのが
大好きで…

うん…
わかってる

今っすぐ
出してあげる
から…♡





この虫さんは
女の子の膣内に
住み着く寄生虫

初潮前の
女の子の膣を
食い荒らし
ながら

子宮に虫ちゃんぽを
突き刺して...
女の子を虜にする
毒を流して...

子宮はだんだん
虫さん専用の
メス虫交尾器に
改造されちゃう...♡

脅かさ
ないで
よねっ



おっ

でもいつしか
私この虫さんに
本気の恋をして

うわっ
おっ
うわっ
おっ

自分から
子宮...虫さんに
あげちゃった♡

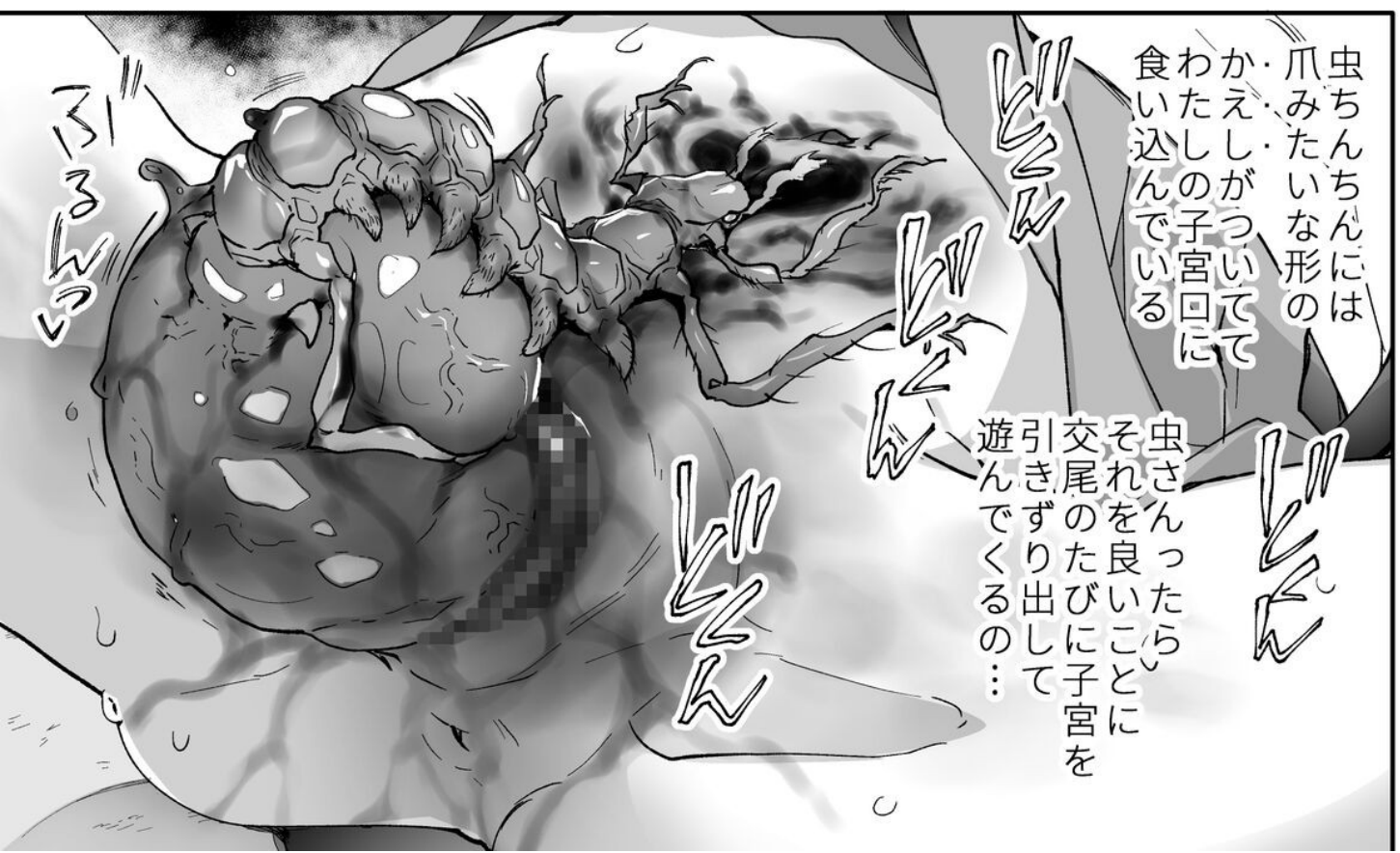


こんな虫...
女子なら絶対
気持ち悪いよね

私だって
最初は...

ん...
いいよ♡

今日も...
全部出して
ヘンタイ交尾
...しよっか♡



虫ちゃんには
爪みたいな形の
かえしがついてて
わたしの子宮口に
食い込んでる

虫さんったら
それを良いことに
交尾のたびに子宮を
引きずり出して
遊んでくるの...

ん
ん
ん
ん
ん

どうして
こんなに嬉しく
なるんだろう？

気持ちよさそうに
もっともっとって
せがんでくると
虫さん見てると

いくらでも
子宮オナホしてイ
あげたくなっちゃう♡

虫ちゃん
震えてるっ♡
射精するの？

わたくしが虫ちゃん
ちよつとこすこす
しただけで：
ぴゅっぴゅガマン
できないんだ？

ああ〜…もっ
かわいい…♡

そっか…これ
母性だ…♡

わたしの体：
虫のママになる
準備してる♡

愛した虫さんの
ちんぽ奉仕して
ママになるっ♡

いいよっ虫さんなら♡
わたしの卵っせんぶ
使っていいよ♡

だから
はやくっ♡

赤ちゃん
作る♡

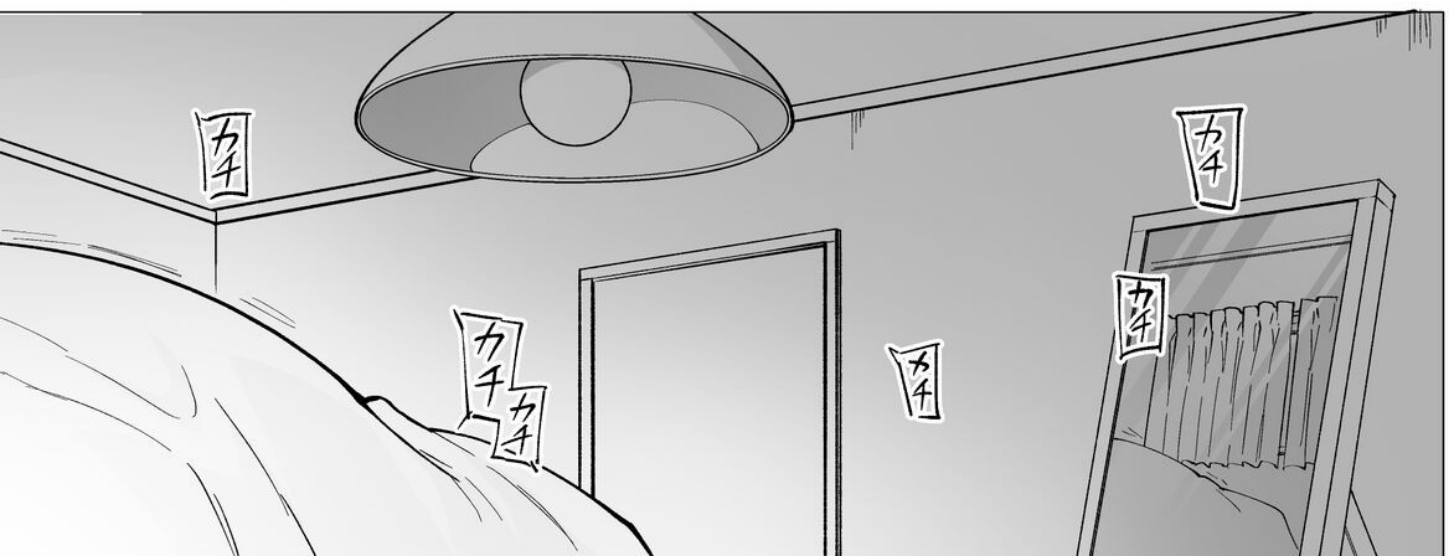
きたあつ♡

これっこれ♡
一番すきなやつ
精子っおつも♡

ああ……虫さん精子っ
いちばん深いところまで♡
受精アクメつきでるっ♡

子宮オナホで
射精してもらったのっ
いちばんつえぐい♡

かんっぺき
ハマってる……♡



最初にしたのは
・趣味の人達に
・同じ趣味の人達に
報告することだった

スマホ買ってもらったんだ
おめでとう！

良かったね～！
まだ小学生なのに、
お父さん納得してくれたんだ？

これで苗床ちゃんも、
私達のメス虫仲間だね！

ネットの世界では
みんな競うように
素敵なメス虫に
なりたがっていて

虫の悦ばせ方や
上手に赤ちゃんを
産むコツ

虫との馴れ初めや
交尾の体験談などが
毎日のように
語られていた



……え？
そんなこと
しちゃって
良いの？

う、うそうそうそ
こんなやつて…
え、うわ…

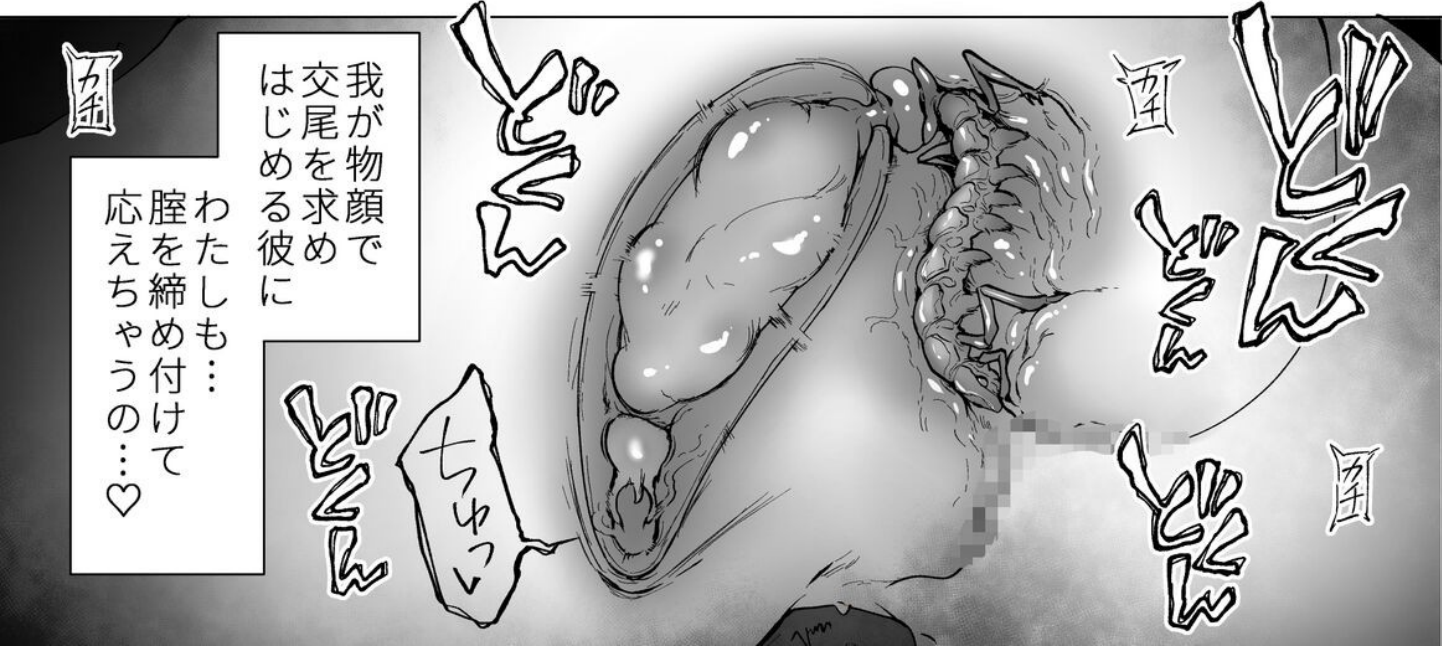
未知の知識が
毒のように
頭へ染み込んで
子宮がうずけば



繋がりはなしの
虫さんにはすぐ
バレてしまう

ああつづるい…っ
みんなこんなに
楽しそう…♡

私も早く
立派なメス虫になって
かわいい赤ちゃん
産んであげたい…♡



我が物顔で
交尾を求め
はじめる彼に

わたしも…
膣を締め付けて
応えちゃうの…♡

おう♡
おほっ？

これっなに？
ばくはつすりゅ♡
おお〜♡

何よりこの
子宮の奥で
はじける
本気射精っ♡

これっ…
この味っ…
ヤバくて♡

わたしはすぐに
ご奉仕交尾の
虜になった…♡

虫さんに奉仕して
気持ちよくなれる
子宮のことを
オナホと呼ぶらしい

オナホ持っているの
うらやまし〜♡
メス虫の才能◎

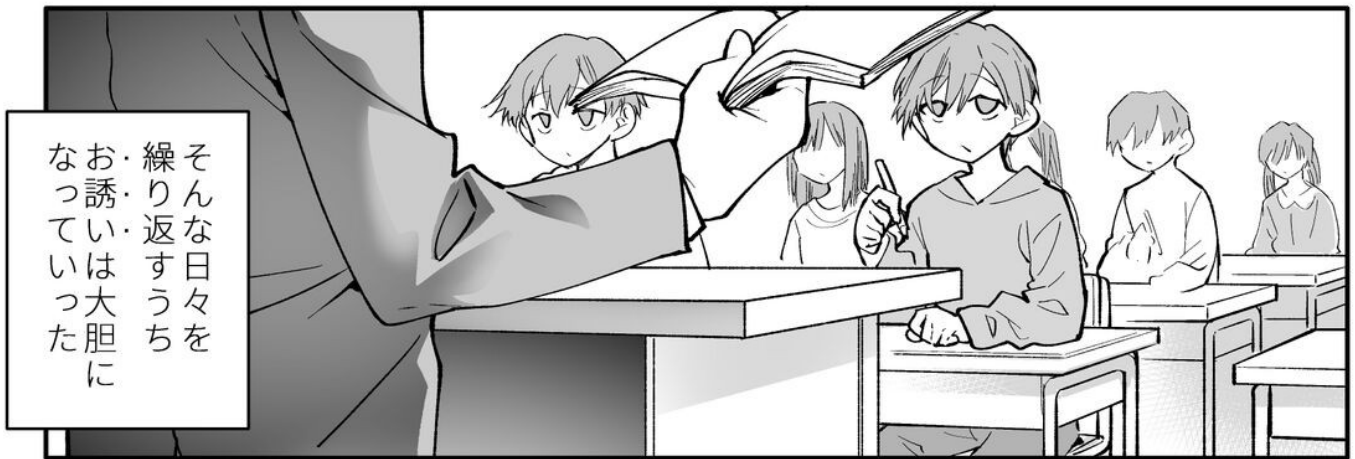
このままご奉仕交尾
繰り返してたら
もっとオナホが馴染んで
気持ちよくなれるからね

また体験談聞かせて！
写真とかもくると
嬉しいな〜

彼女たちの
言葉を信じて

私は毎日
子宮オナホを
繰り返した







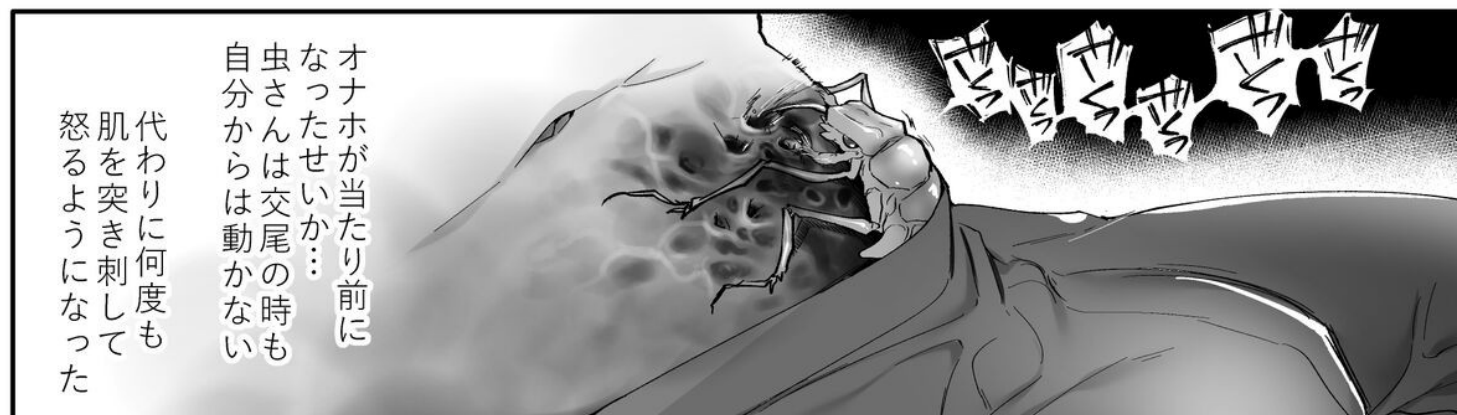
そんなわたしの
気持ちなんて
届いた試しはない

虫さんにとって
メスは気分良く
交尾が出来る
ただのおもちや



お願い虫さん…
もうちよつとだけ
我慢して…♡

休み時間になったら
いくらだつて…っ
してあげるから…♡



オナホが当たり前に
なったせい…
虫さんは交尾の時も
自分からは動かない

代わりに何度も
肌を突き刺して
怒るようになった



虫さんが
こんな
求めている…

応えて
あげたいし…

…さんっ



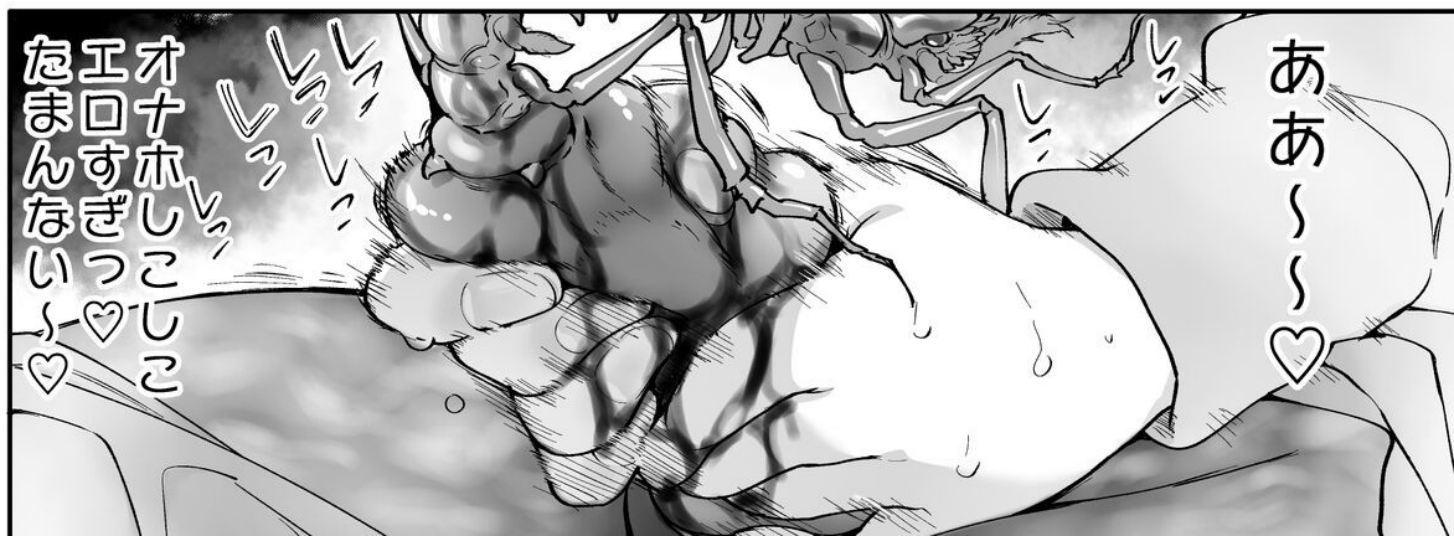
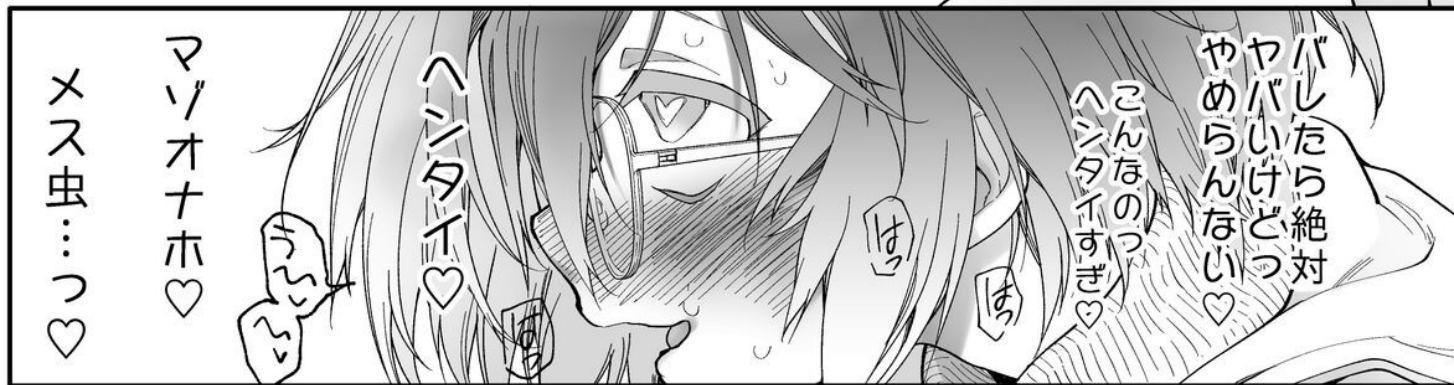
授業抜け出すと
目立つけど…
仕方ないか

—さん



…どうしよう
トイレで
してあげる？







わたしの扱い方っ
虫さんにぜんぶ
バレちゃったあ…♡

どうしょ♡

そっか：もうわたし逆らえないんだ



あ…
なんでもないです



アマノさん
どうしました？



わたしがかっそりオナニーしてるって勘違いしてるんだ！
エロガキ…っ♡



…いやでもバカな男子だ
女の子が虫さんと交尾出来るなんて知るわけない



もしかして…！
してるどこ見られてた？
バレてる？

ほら…男子って
こうやって自分で
しごくんじゃよ？

ちゅっ

お・ち・ん・ち・ん♡



メス虫オナホに
なる幸せが理解
出来ないなんて
かわいそう…♡

にゅっ
にゅっ
にゅっ

虫ちゃんぽで
子宮串刺しに
してもらったのっこんなに
きもちいいの♡

にゅっ

うーわー
勃ってるじゃん
こどもちゃんぽ…♡

キモ…♡

どうせ帰ってから
自分でしごきこ
するんでしょ？
一人寂しく…♡

あ…やばっ
この妄想
イイかも…♡

カタ

カタ

はっ
もうちよい…♡

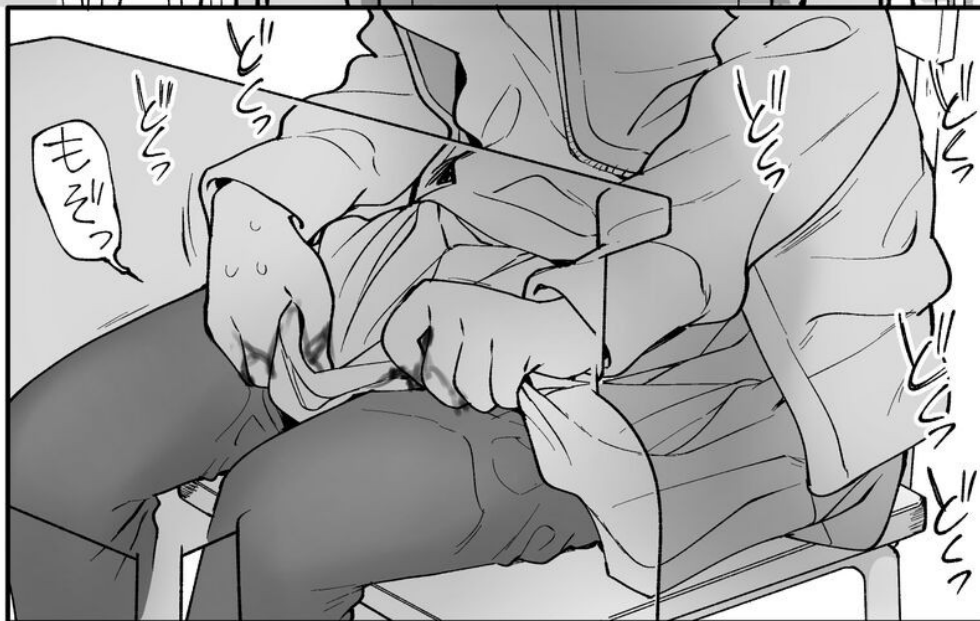
カタ

はっ
カタ

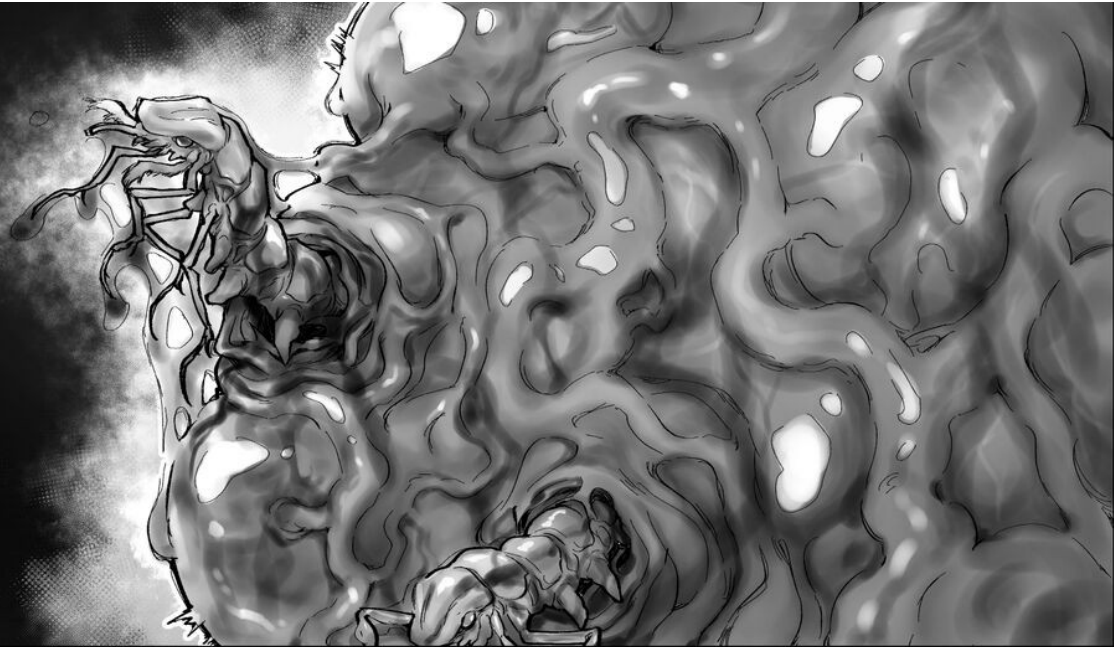
カタ





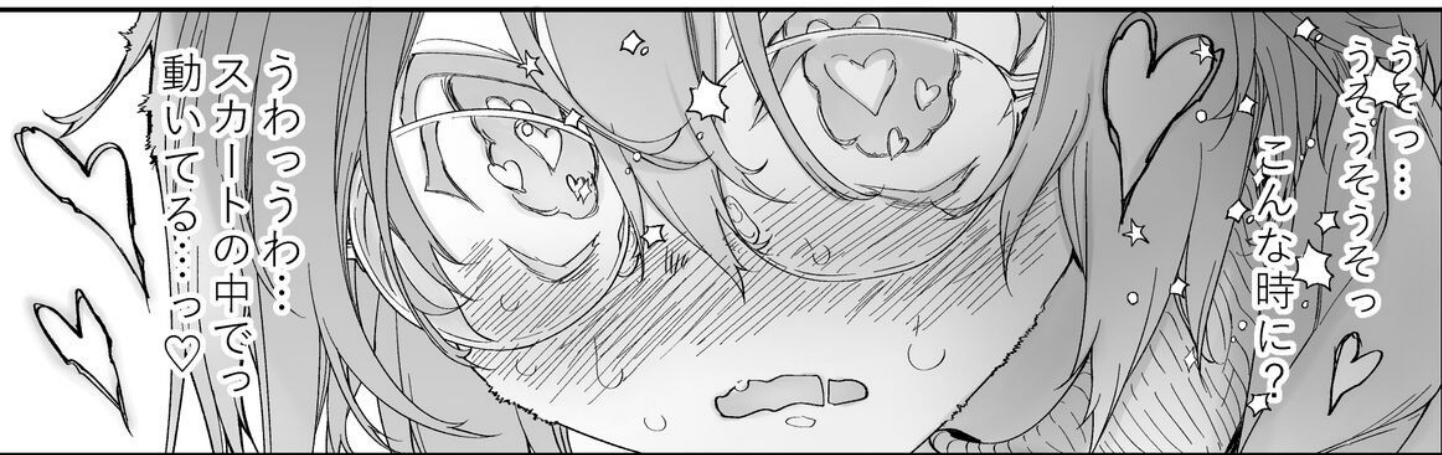


赤ちゃん…？



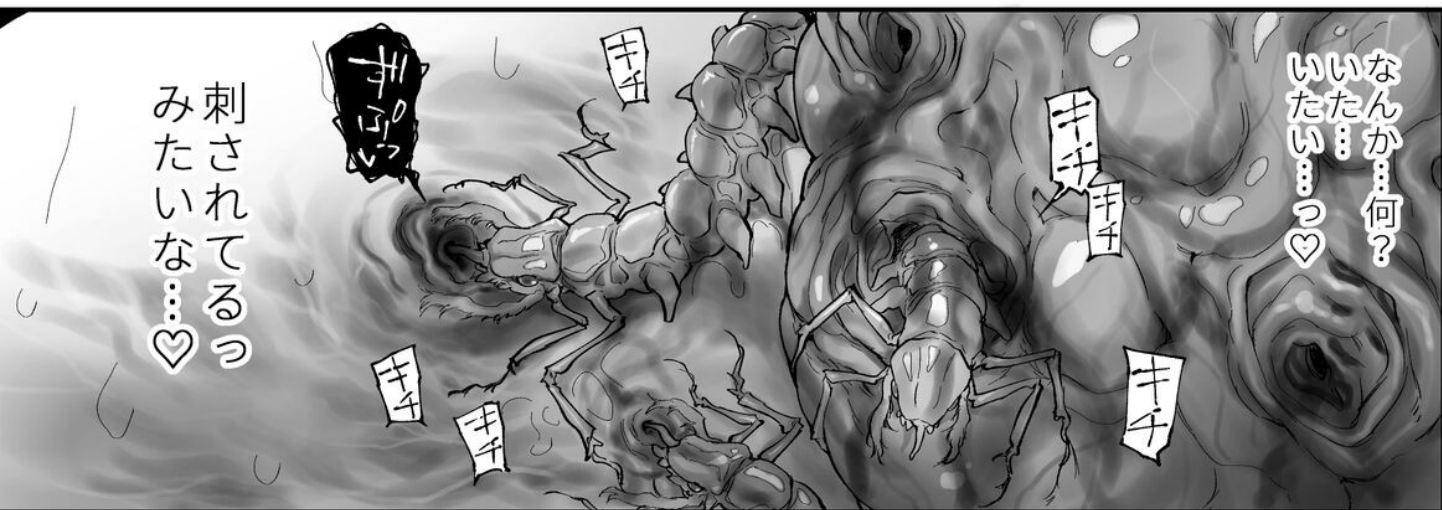
うそっ…
うそっうそっ
こんな時に？

うわっうわ…
スカートの中でっ
動いてる…っ♡



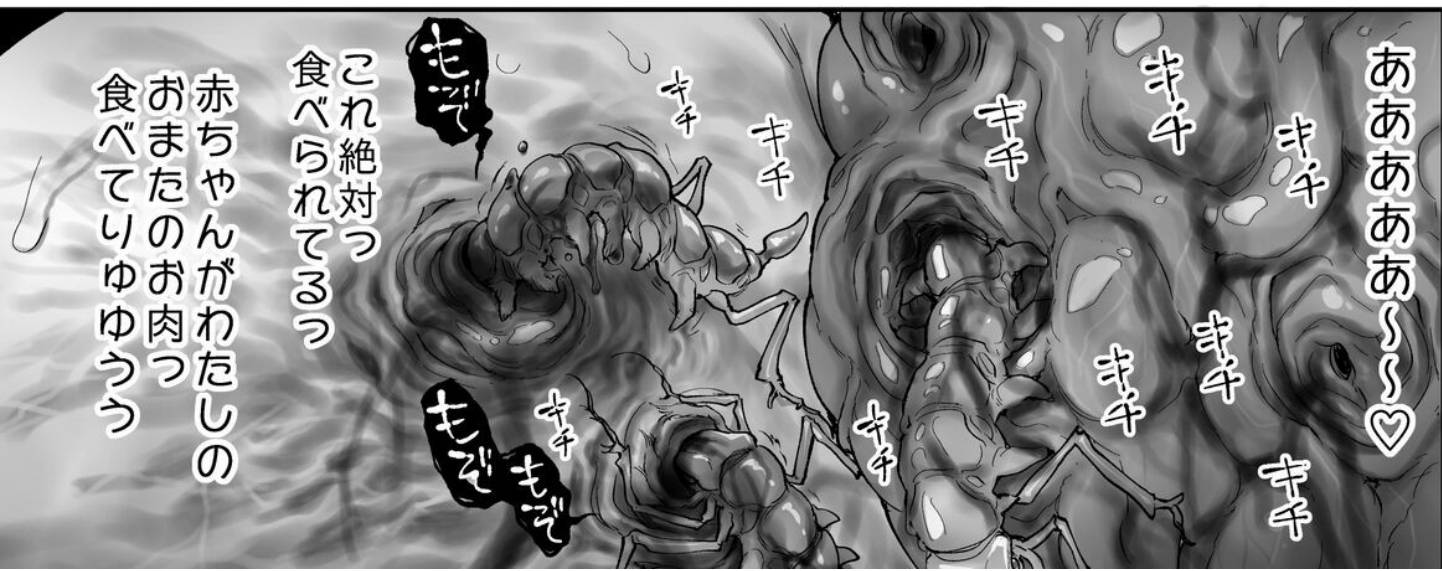
なんか…何？
いた…
いたい…っ♡

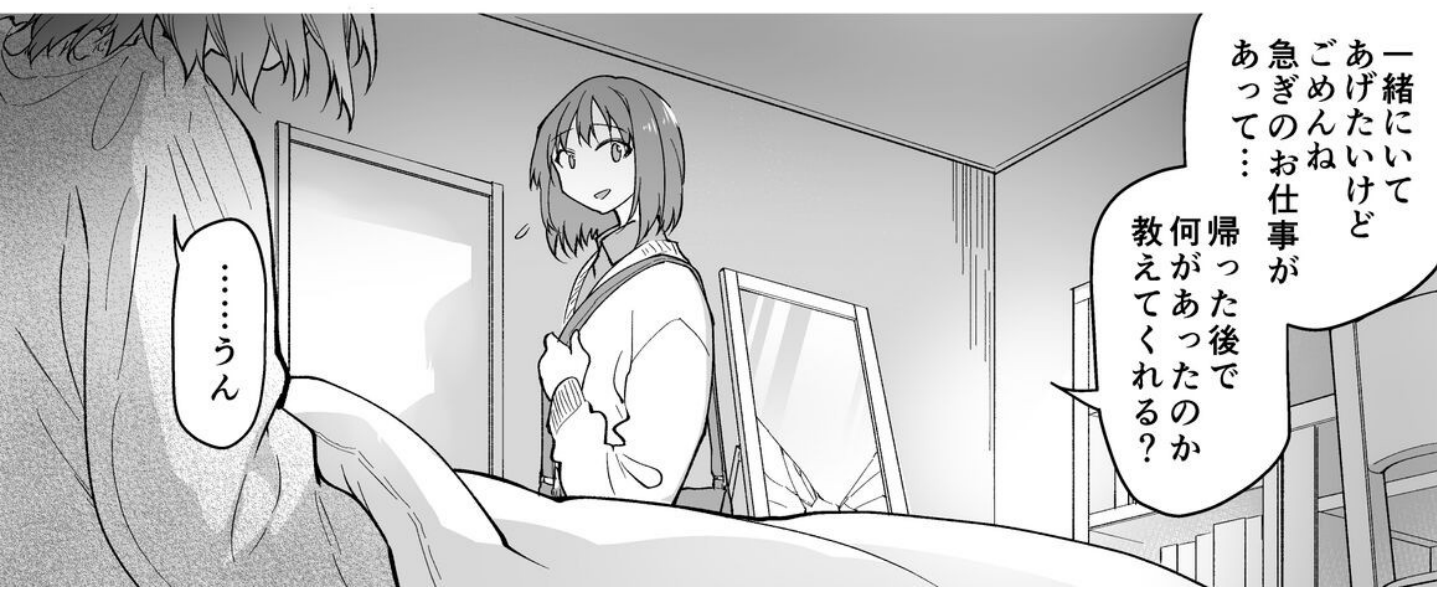
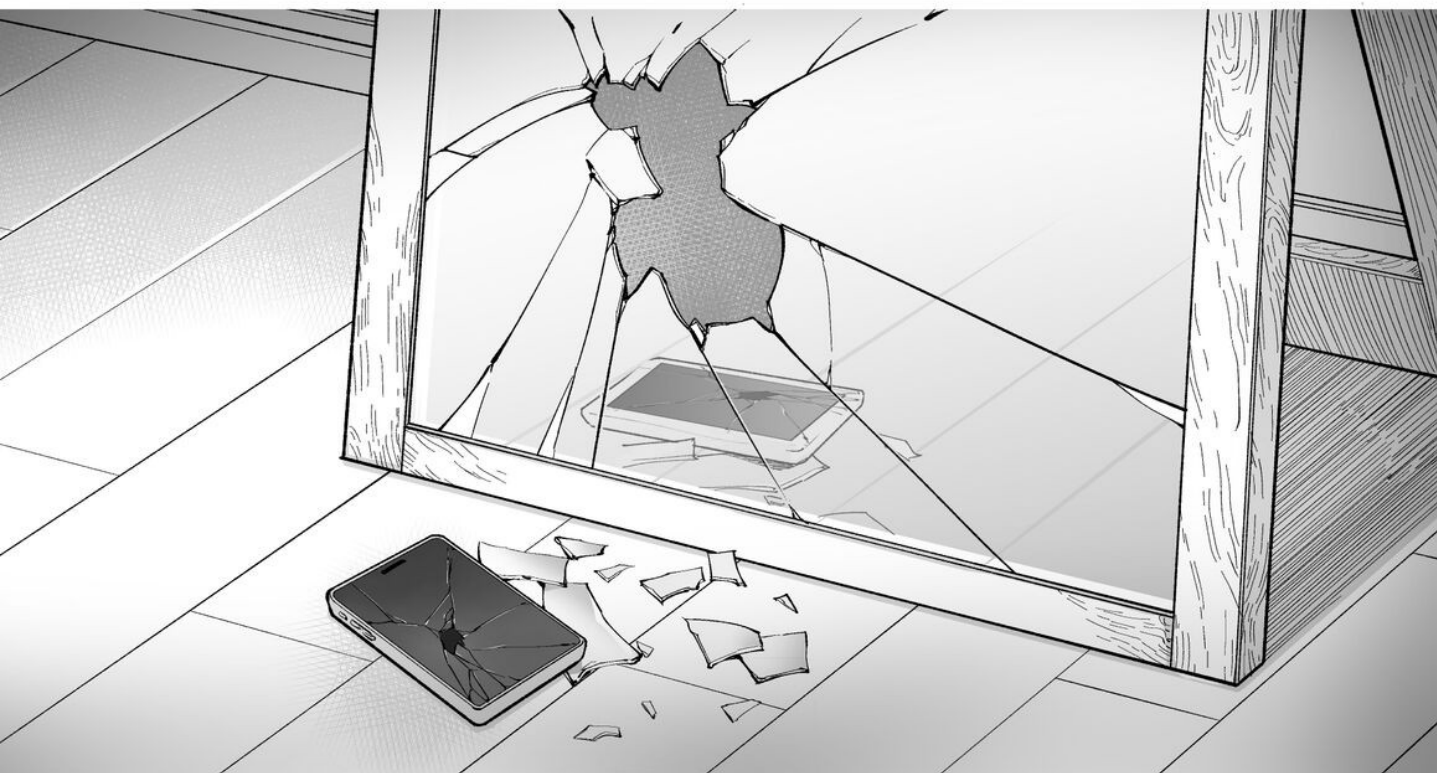
刺されてるっ
みたいなの…♡

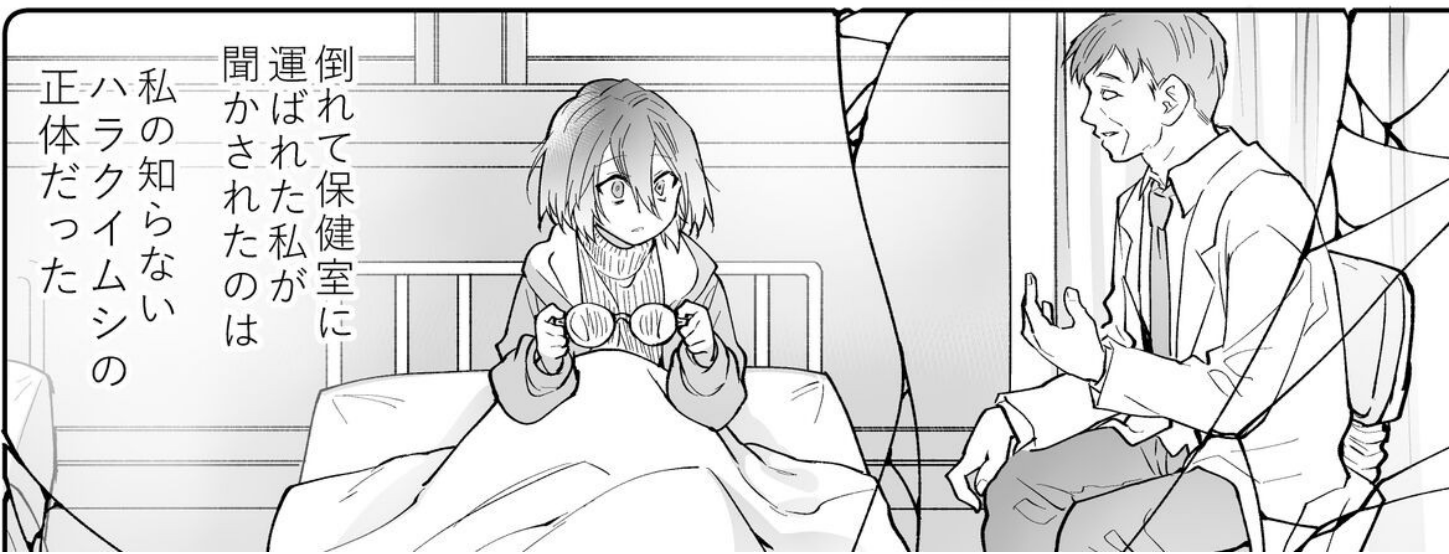
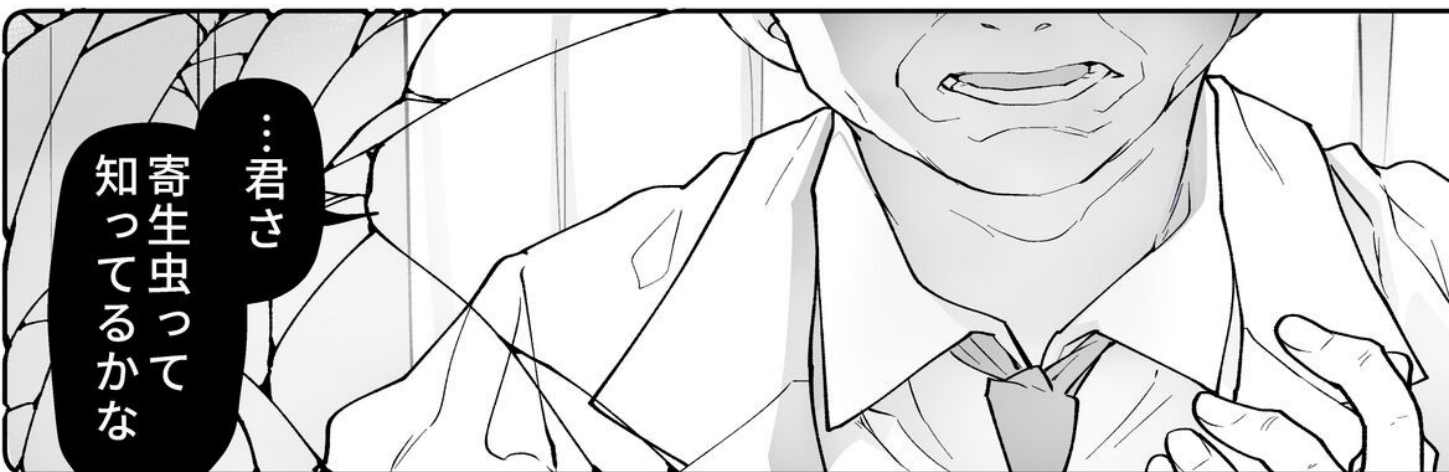
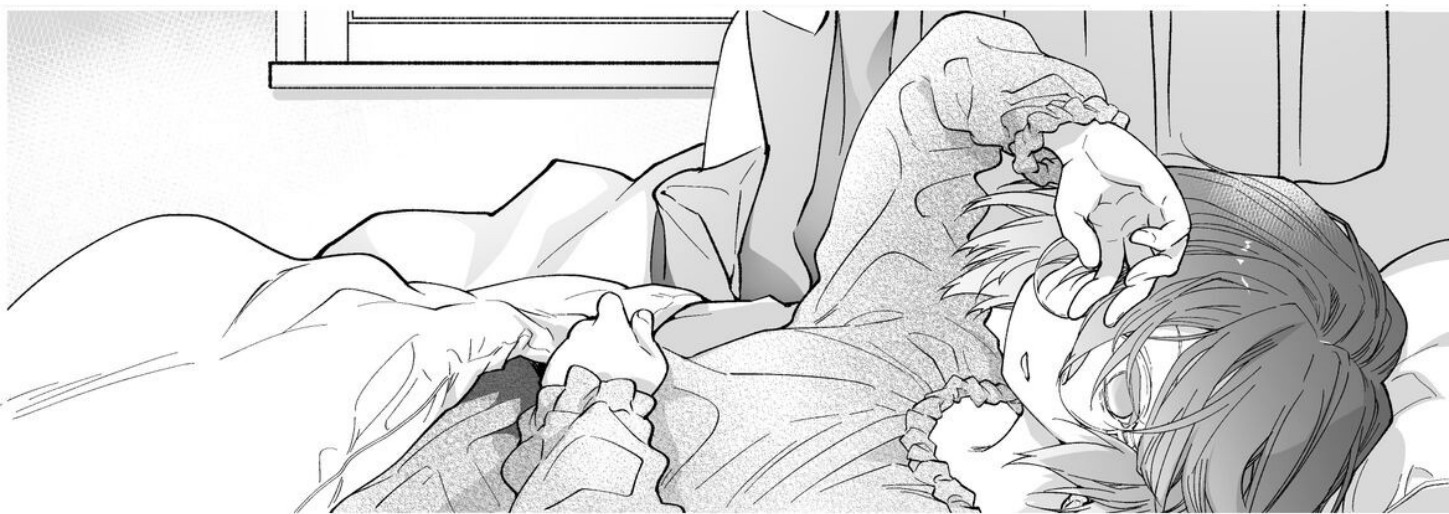


ああああ…♡

これ絶対っ
食べられてるっ
赤ちゃんがわたしの
おまたのお肉っ
食べてりゅゅっ









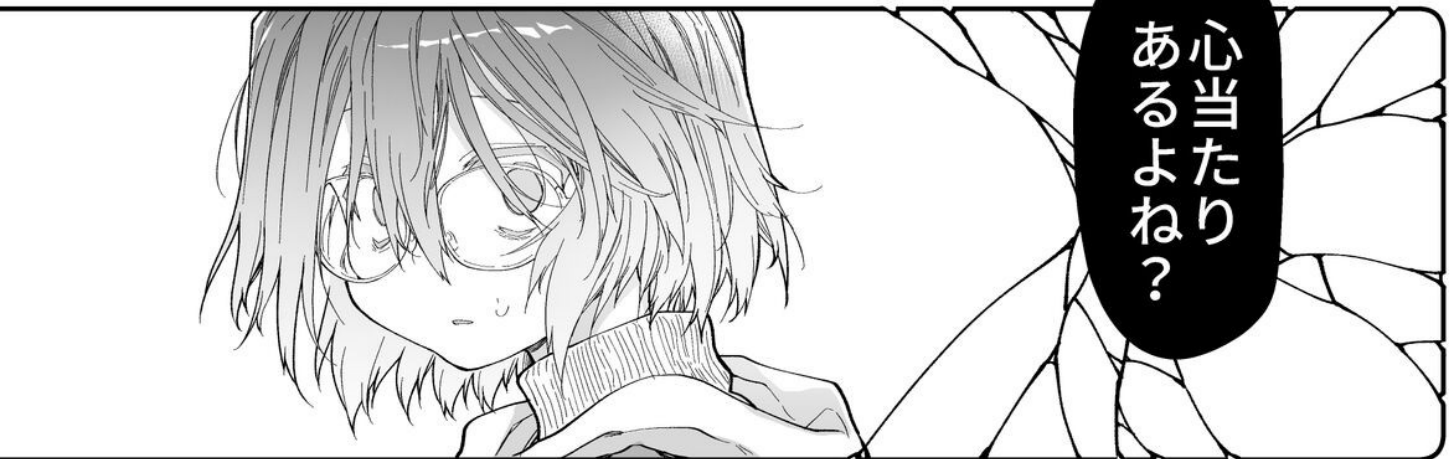
果てには
毒を宿主の脳まで流し
愛情や幸福感さえ
操ってしまう



哺乳類の膣肉を
毒で溶かして食べ
子宮に寄生し
子を産ませる



ハラクイムシは
生命を脅かす
恐ろしい寄生虫



心当たり
あるよね？



でも



…本当は
そうかなって…
わたしだって

本気で虫に
恋するなんて
おかしいに
決まってる

それでも
信じられなかった



虫さんを見るだけで
胸がときめくこの気持ち

恋じゃないなんて



出産を終えた
子宮は
醜くしぼんで

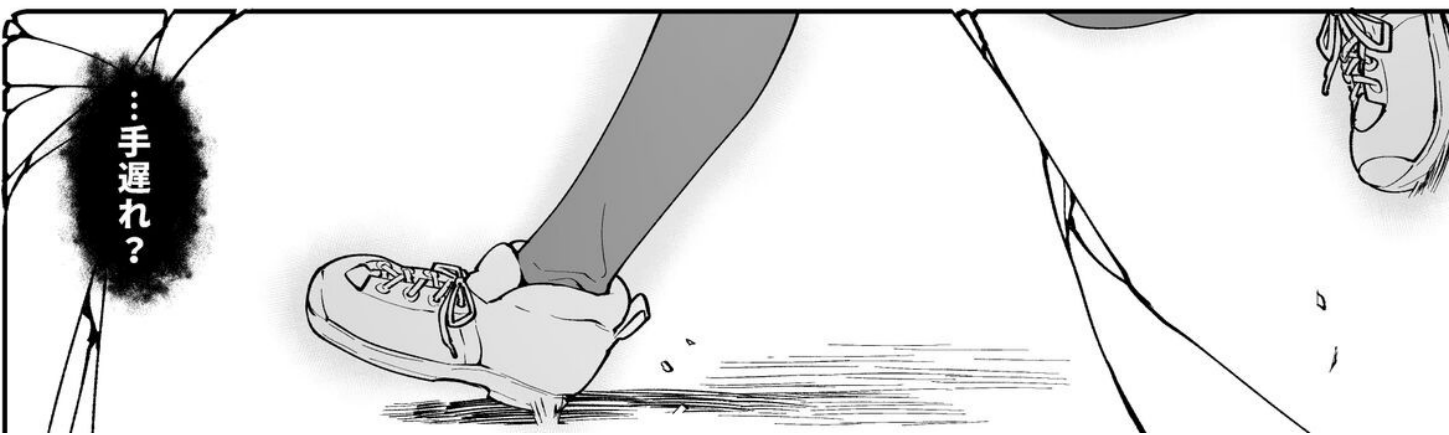
産まれた
赤ちゃんたちは
太ももに巣を
作っていた



私の肉を食べる赤ちゃんを
愛しく思うこの気持ちも

虫さんに…
操られてるから？





虫の毒は
脂肪を
溶かすんだ

下腹部や内もも
乳房などが溶けて
食べ尽くされれば

いずれは
普通の生活も
送れなくなる

脂肪で出来て
いるのは脳も
同じなんだよ

—というか
自分で自分が
変になってるって
思わなかった？

授業中に
我慢できなく
なるなんて
普通じゃ

脳が萎縮
して

—以前の君は
もっと賢い子
だったんじゃない
かな？

そんなわけない
だってみんな
言ってたし

平気だって
こんなに

そうよね？

カチ

カチ

カチ

カチ

カチ

か
し
こ
く
な
ん
で
な
い
で
し
ゆ
う
く
♡

か
か
か
これ
が
ホ
ン
ト
の
わ
た
し
で
し
ゆ
♡

自
分
か
ら
虫
さ
ん
の
オ
ナ
ホ
に
な
っ
ち
ゃ
っ
た
ヘ
ン
タ
イ
バ
カ
虫
で
し
ゆ
♡



だつてだつて♡
しこしこして
あげなきや
かわいそう
だもん♡

虫さん精液
ぜんぶじぼらなきや
オナホ失格だよ♡

おお〜虫ちゃんぽ
キつくうつ♡

オナホ絞るたび
おっぱいに毒っ
流されりゆう♡

やばいつこれ
脳に近いから
直にキて♡

きぼぢい
たまんにやい♡
♡

わたし
虫さんに脳みそ
どろどろに
溶かされて…♡

だからこんなに
きもちいいの？

だ…ったしかに
さいきんべんきよう
むずかしいしっ

本とかも
よまなく
なったし…

これっやっぱ
やばいかも…

でも…お♡



オナホ交尾っ
さいこおっ♡

あああ
これムリっ♡
やめらんない♡









じゃあ…
もつとしても
いいかな？

うん♡しよ♡
しよ♡しよ♡
いっ♡つぱい♡



ほら…♡

オナホ
子宮の奥で
虫ちゃんちと
ちゅうちゅう
キスしてる

赤ちゃんたちは
わたしの体に
穴を空けまくって
交尾の練習…♡

かわいくて…
きもちよくて…
たまらないよね♡

ちゅわい
ぬ

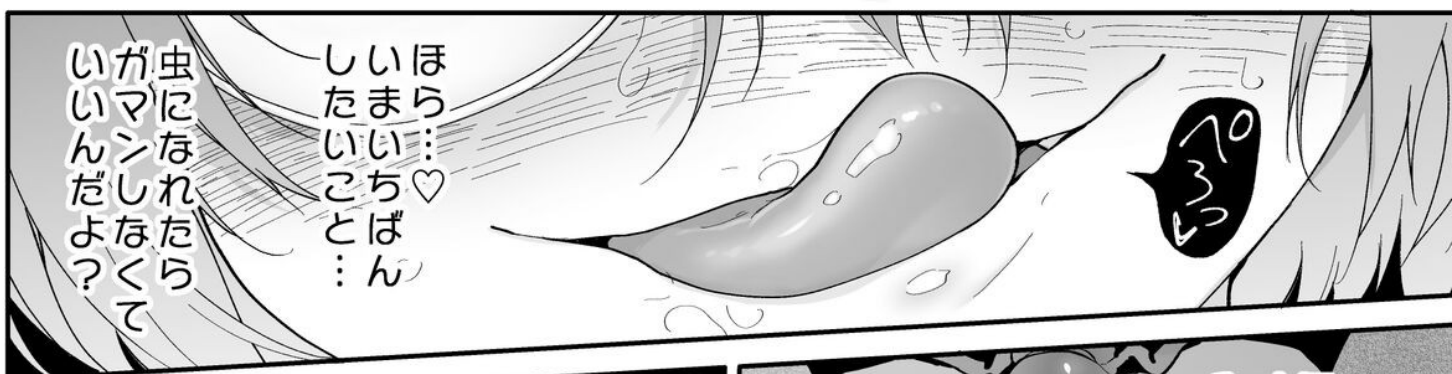


できない
よねえ？

こんなの
やめちゃう
なんて



わたし
キリ工は
変身するの



ほら...♡
いまいちばん
したいこと...
虫になれたら
いいんだよね？



ほらほら♡
ばかになれ♡

子宮ほじくつて
ばかになれ♡



ほらほらっ
オオホの穴
ひろがったね
ぐちゃぐちゃに
ほじくつたら
指入っちゃうかな？

そしたら...
もつとずつと
きもちいいよね？



女の子の
本能にうる♡

うおお…っ
ざらざらしてっ♡
かたくてっ♡



あつだめ
虫ちゃんぽ直に
しほるのやばいっ
ダメっコレ♡

ちんぽにのこった
毒っせえっんぶっ
子宮でえっっ♡



のんじゃおおっ…っ♡



さわった♡
さわった♡

これがっ
虫ちゃんぽ…♡

女の子の夢っ
かなっちやった♡

おっ
おっ
おっ
おっ



幸せすぎ♡
メス虫
最高♡

もう決めた♡
虫さんの毒で
ばかになりゆ♡
およめさんなる♡

だっだから
ごつごほうびつ
もつと♡



おおっほ♡
脳みそとけりゆ♡
ぎぼちい♡



あ：あれっ
ちよつと
まって…？
もしかして



女の子がい
やわらかい
のって

虫さんに
おいしく
食べてもらう
ため…？



よく
気づいたね

女の子は
最初から
虫さんの
ためのもの

それが
一番幸せに
なれるの



じゃあ

虫さんに
いのちも
こころも…
全部あげて

幸せに
なろっか…♡



あつだめっ
だめだめ…♡
ベロが勝手に
求婚しちゃう♡



虫さんと
誓いのキス
しちやう♡



おうっ♡



やっとな
わたしたち
あすばれたんだ♡

虫さんとの
フアーストキス♡
ホントに
恋人みたい♡

うああっ♡
これしゅごいっ♡
脳がやけりゅっ♡
これれりゅっ♡♡♡



そっか…
これっもう
交尾じゃない♡
セックスなんだ♡



本当の…
セックス♡

愛し合う
二人がする

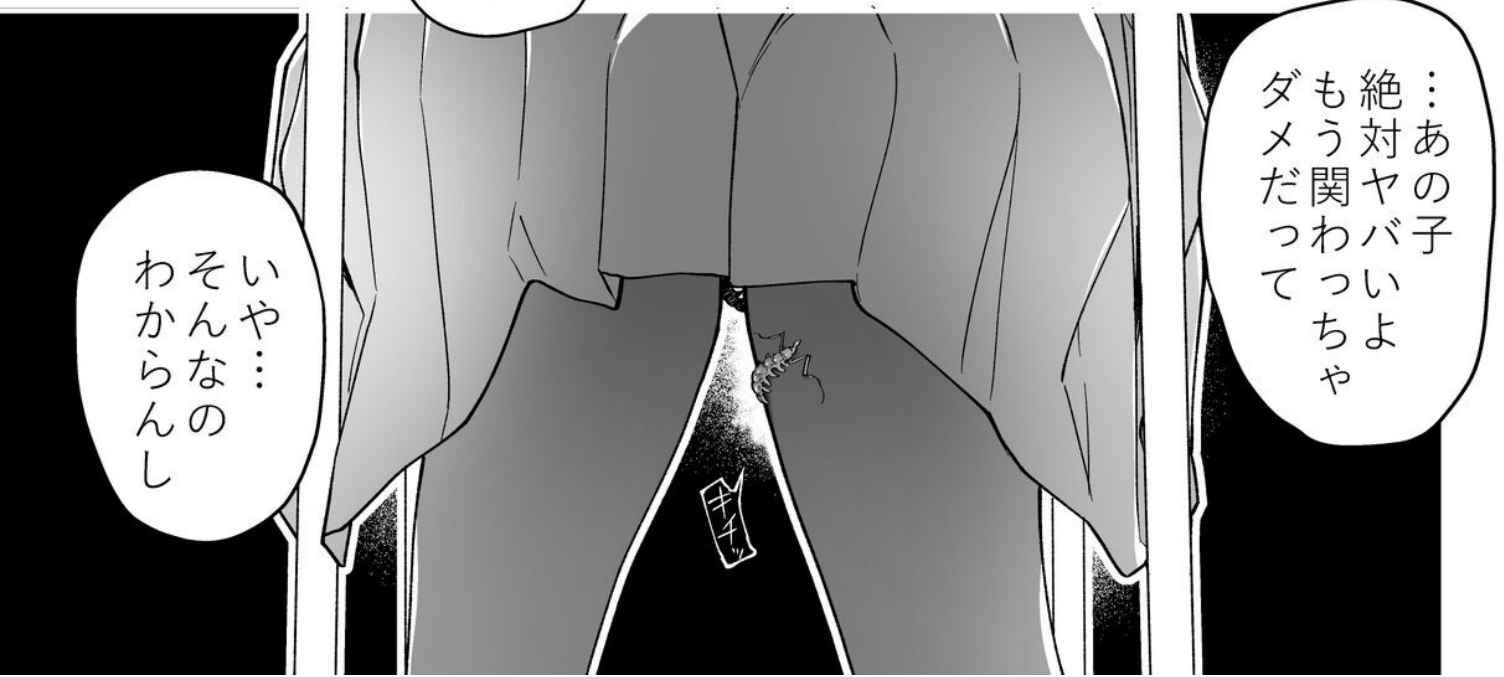
わたし：
虫さんのおよめさん
なんだから…♡

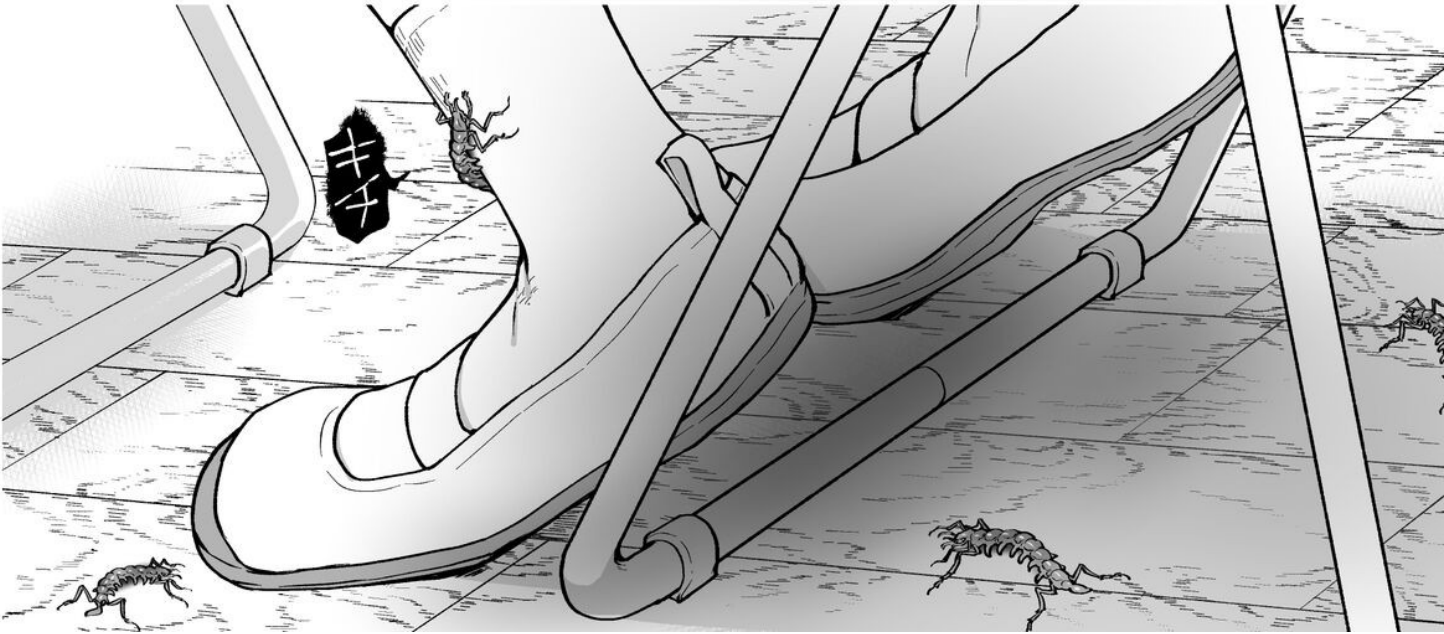
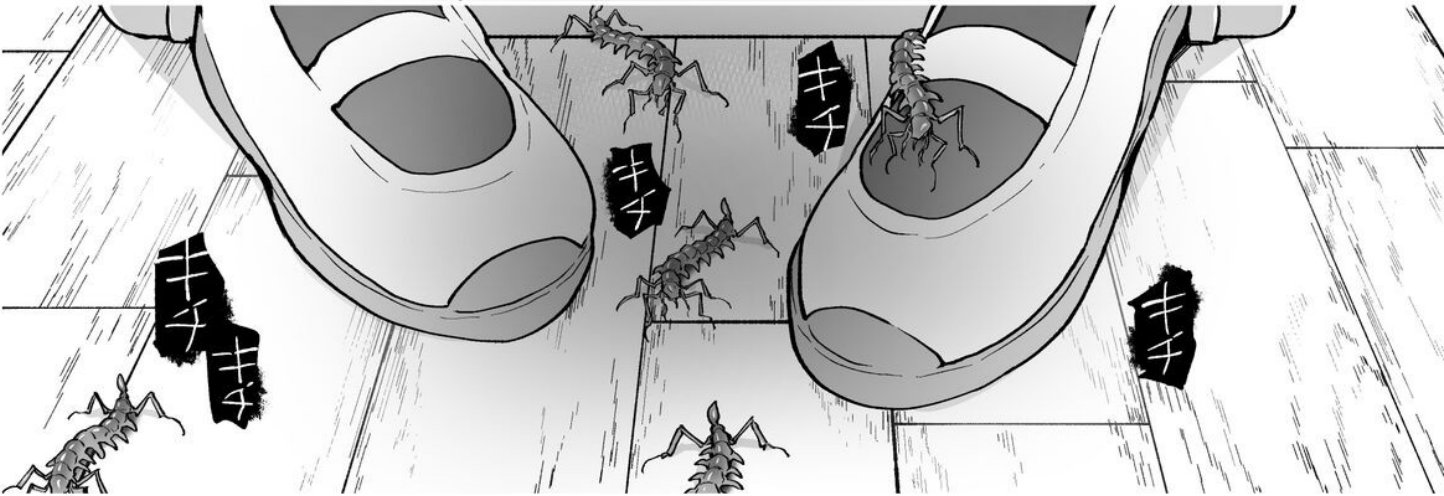
虫さんと
愛し合つて：
虫さんのために

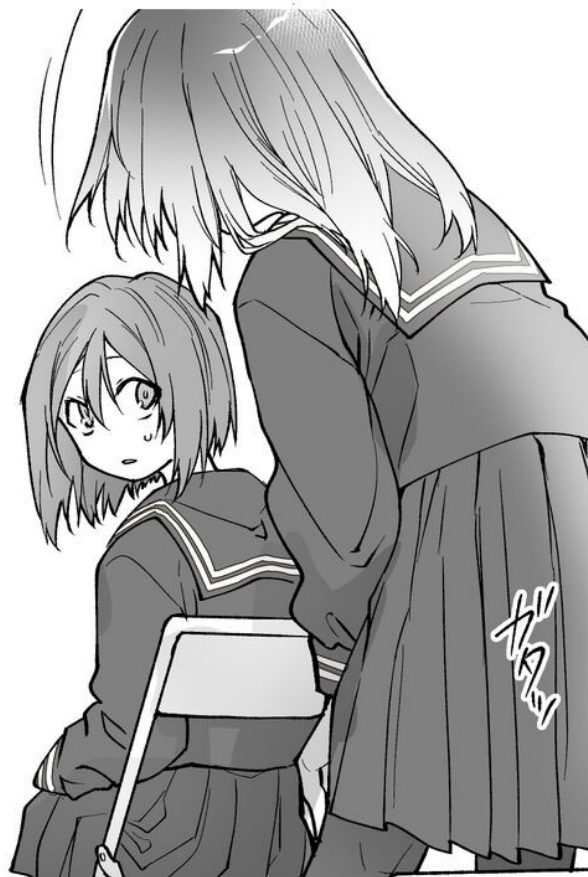
赤ちゃんいっっぱい
産みまくっちゃう…♡













なんか：
目え怖かった
んだけど

メスミシなんで
おんなのこから
きらわれるのが
ツウなのに

あのこは
はなしかけて
くれた



ならあのこも
きつとヘンタイで
虫さんとけっこん
したいはず

虫さんに
えらんでもらえて
よかったあ…♡



わたしのつ
あかちゃん♡
はいつてつた♡

あゝこつこれ
これしゅごい♡
ぴりぴり♡やば♡

ふひつうひ♡
ごほうびくり♡
いひつへへへ…

ぞく

ぞく

ぞく





察しわるw
虫に頭やられてる
だけあるね



だな

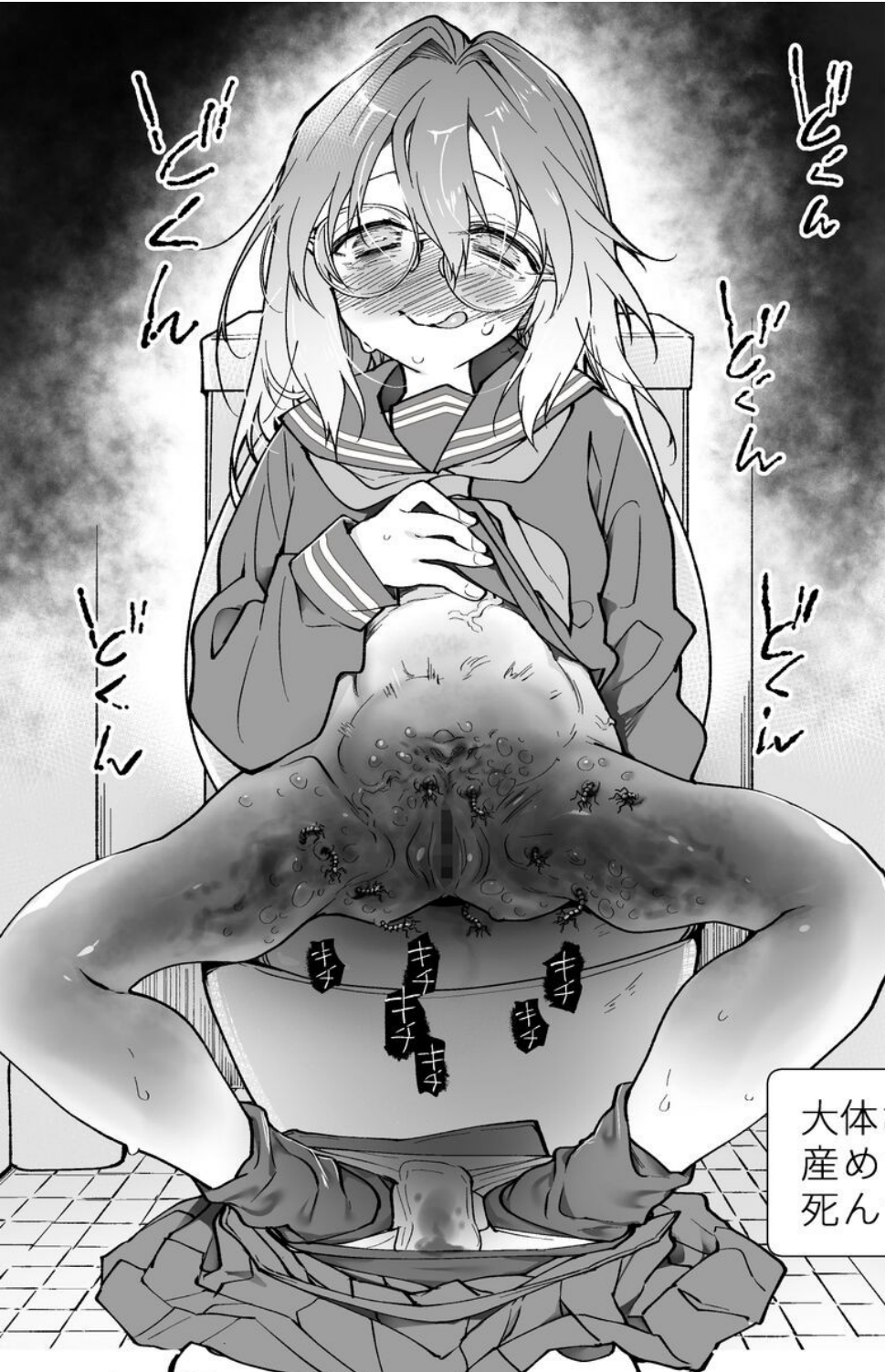
いやたっぷり
楽しませてもらったわ
ごちそうさま～

もうここめるから
来なくていいよ
苗床ちゃんw

え？

別の場所に
移るとかですか？
URLください





大体さ～人間の子供
産めない女とかとっくに
死んだようなもんでしょ



そんなことも
わかんないの？

さみどりママ
ボントバカだね、
女の子ってW

たすけて

だめだめっ
こんなの
やめらんない♡

おっおおお……♡
あかちゃんつくるの
ほんとしあわせ♡
虫まんこサイコー♡

またくるっべろっ
ぴりぴりくる♡
おあ〜ぎもぢい♡



〇〇 〇市の公立中学校で不審死

2024年4月16日 15時13分 [事故]

16日未明、〇〇県〇市の公立中学校の女子トイレ内で、
中学1年生の女の子 大村桐江さん(14)が死亡しました。

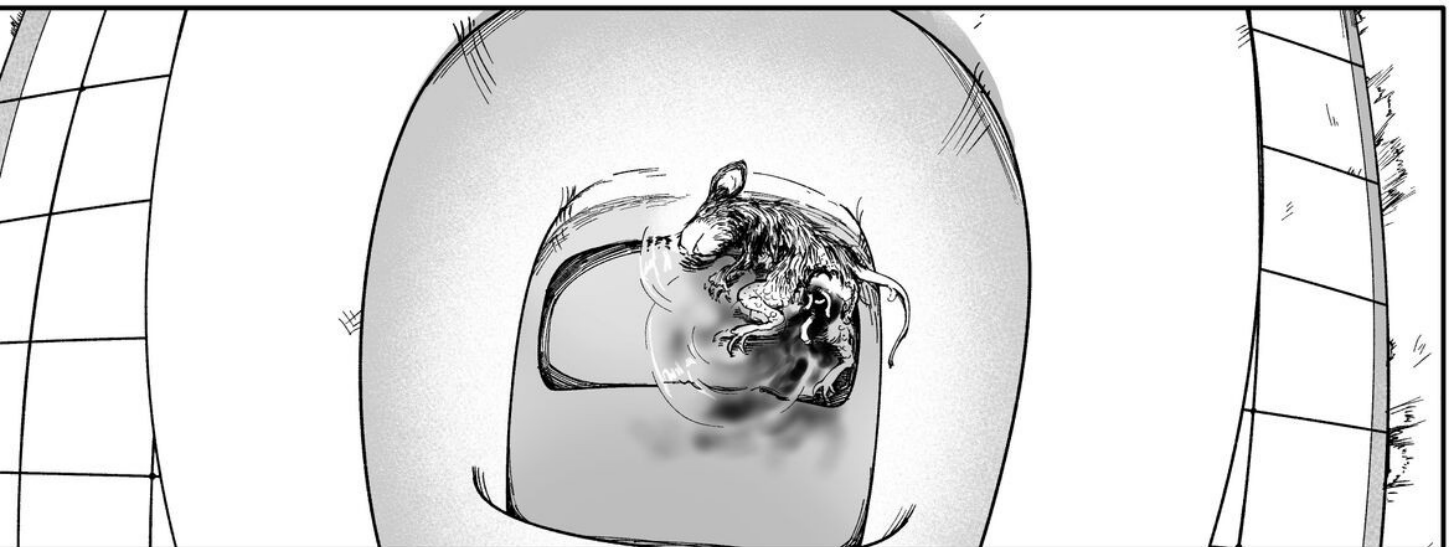
女の子の腹部から脚部中程までは赤黒い水疱に覆われ、
腹部から胸部にかけて深い裂傷があったことから、
外来の寄生生物が原因であるとし、詳しい状況を調べています。

13日午後9時頃、学校を訪れる大村さんが複数名に目撃されており、
以後完全に消息を絶っていたことから、その時から該当の
トイレに立てこもり続けていたと考えられます。

発見された時点で大村さんの心肺は停止しており、病院に
運ばれましたが、死亡しました。

亡くなった大村さんは、新入生として中学校に入ったばかりだった
ということで、入学前から感染していたと見られています。

成長した寄生生物が繁殖して拡散された可能性を踏まえ、
警察が、感染経路などの詳しい状況を調べています。



あとがき

※くっくっくっく長いので、別に読まなくていいです。なんなら本作の"使い心地"に悪影響を与える可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。また、寄生虫シリーズ全体についてのネタバレを大いに含みますので、その点もご承知おき下さい。

…「宿主を操る寄生虫」と言えばロイコクロリディウムが有名かと思います。
カタツムリに寄生する吸虫の仲間で、これに寄生されたカタツムリは、体内を食い荒らされながら成長する百数匹の幼虫たちに、触覚の先端へと住み着かれてしまいます。
膨れ上がり奇妙な色に変色した不気味な触覚の写真を目にしたことがある方も多いでしょう。
これによってただでさえ目立つ見た目に变化したカタツムリは、それだけでなく行動さえも変化し、わざわざ目立つ日中に葉の上へ登ろうとします(カタツムリは基本的に夜行性)。
まるで、最終宿主である鳥の体内に移動するため、寄生虫が宿主であるカタツムリを操っているかのようです。このような振る舞いは、寄生虫の世界において枚挙に暇がありません。
ハリガネムシに寄生されたカマキリは、自ら水辺へと移動しハリガネムシの移動を助け、エメラルドゴキブリバチという寄生蜂は、幼虫を植え付けたゴキブリへと的確に麻痺毒を注入し、ゴキブリ自らの力で外敵の居ない巣穴まで帰らせ、さらには寄生された幼虫に大人しく食べられることを強制します。
ハラクイムシも、これら先輩方の仕事にリスペクトを込め「宿主は寄生虫のために死に場所を選ぶ」という方式を取らせていただきました。
ちなみに、これらの複雑怪奇な生存戦略に対し「寄生虫は知能が高いの？」という誤謬をする方を時折見かけなくもないですが、勿論そうではありません。虫は、ごくシンプルなプログラムで動きます。脳が小さいため、行動を決めるプログラムの内容も、決まった動きを繰り返すロボットのようにごく単純なものにならざるを得ません。
前述したエメラルドゴキブリバチで例えるならば、彼らは宿主となるゴキブリに、意識を失わせず、かつ行動を適度に鈍くさせるという絶妙な量の毒を注入する機能がありますが、ゴキブリ以外の、より巨大な虫や小さすぎる虫に対して同じように上手く毒を調整することは出来ません。
また、その後片方の触覚をちぎり、もう片方の触覚を綱のように引っ張ってゴキブリを巣穴へと誘導しますが、この時残った触覚が何らかの形でちぎれば、もう彼らに代案はないでしょう。
知性とは、「上手くいかなかった時の代案」をどう用意し、どう備え、さらにはそれがどれほど生存率に影響出来るかによって問われます。…そう考えると人間の知性も大した事ないのかも知れません。
ともあれ、彼ら寄生虫にとってそういった失敗もまた、枚挙に暇がありません。現代においても、おそらく過去においてはさらに多く。当然、失敗した者達は淘汰されます。
弱い(あるいは強すぎる)毒を持って生まれたもの、触覚を上手く引っ張れない不器用者、巣穴にゴキブリを閉じ込めた後に砂や石で蓋をするのを忘れるうっかりさん、気まぐれでゴキブリの体を食べることなく餓死する幼虫、etc.....「上手くいかず死んでいった命」達の犠牲の果てに、「たまたま上手くいった血を繋いだ命」達がいる、というだけ。
そしてその「たまたま上手くいった命」も、ちょっとした環境の変化であっさりと死に絶え、逆にその時「本来なら上手くいかなかったはずの者達」が血を繋ぐこともある。
そういった「命」のやり取りのシンプルさ(にもかかわらず種としては大変に多様)が、虫という生き物の面白いところの一つだと思います。
ちなみに虫の体を潰すと出てくる体液は赤くありませんが、それは血の色素の原因であるヘモグロビンが含まれておらず、酸素を運ぶ役割は別の器官(昆虫ならほぼ気門)が担うためです。他の機能は変わらないため、虫に対しても「血」と表現しています。
ちなみに、虫といえど殆どの種は人間と同じく酸素が必要なのですが、寄生虫シリーズの虫たちは「宿主のヘモグロビンから酸素を取り込んでいる」というトンデモクソキショ設定です。
なので気門はありません。彼らは呼吸のために膣内へと入り込むのです。
本作には、月経(生理)が始まる前でないとい寄生できないという設定がありますが、それはまだ小さな寄生初期の時に月経が来ると、経血で洗い流されて死んでしまうからですね。
「血の匂いを忌避しない個体」がそれによって淘汰され続けた結果、既に経血が流れ出ている哺乳類を避けるようになったのだと思われます。そのため彼らは寄生してすぐ子宮口に交尾器で蓋をし、「本来生理で出てくる経血を、自分の体に流し込む準備」を始めます。あの針は、子宮に毒や精液を流すだけでなく、血を吸い取る吸入口でもあるわけです。生理という人間生命を支える重要かつ神聖な活動さえもハラクイムシのコントロール下に置かれ、大量の経血がハラクイムシの体内に流れ込むことで彼らは爆発的なエネルギーを獲得し、ぐんぐん成長します。ハラクイムシが哺乳類にのみ寄生する理由であり、本来の肉体のサイズに対し(人間の脳まで届くほどの)異常な量の毒液を生成できる理由、異常に巨大に成長する理由、幾度も元気に射精を繰り返せる理由でもあります。(ちなみに人間も、精液の原料は血液ですね)
…閑話休題。
ともあれ、こういった「生命の面白いところ」に対して浅学なりに真剣に取り組みたい、他の虫姦エロ漫画がわざわざ考えない部分もちゃんと考えて作ろう、と思って描いているのが寄生虫シリーズです。そのため、ハラクイムシも、その生存戦略について「エロ的に都合が良いだけでなく、生態として納得できるような説明」をなるべく用意することにしています。

現代に至る生存戦略。

そこに立ちふさがり大きな問題の一つとして、「ハラクイムシは現代において、どうして未だ駆除されず生き残っているのか？」という点を挙げないわけにはいかないでしょう。

そりゃそうだ。こんな虫気持ち悪すぎる。もし現実には似たような虫がいたら全力で駆除されているに決まってる！そう思う方もいるでしょう…いるか？そんなこと気にするの僕だけでは？という疑問はつきませんが、良いのです。そう！駆除されているに決まってる！！

例えば、蚊やゴキブリくらい繁殖速度や生命力が強い虫なら人間の駆除のペースを越えて増えることもあるでしょうが、ハラクイムシは複雑かつ限定的な生態で、しかも寿命もそれなりに長く、繁殖サイクルも(虫にしては)緩やかです。人間が本気になれば、駆除が可能であるように思いますね。こういった思索は、スカートと寄生虫の時にもしていたことで、この疑問を解消することは、僕が寄生虫シリーズを描くに当たって必要な要件のうちの一つでした。

ちなみにスカートと寄生虫では「人間にとってもこの寄生虫がいる方が、繁殖に都合が良いから」というのを大枠の結論としています。

寄生された女の子は、結果的に、少年にとってより魅力的な女性へと変化する。性についてまだ無知な少年に性行為を促し、「これが普通」だと錯覚させることで、男をも包括して人間という種に寄生していたのがスカートと寄生虫です。まだ生理の来ない小さな少女に寄生するのは、同年代の無知な男子を誘惑するためにも合理的というわけです。この挙動は、寄生というより共生関係に近いですね。言うなれば、強制的共生関係でしょうか。

ちなみに、強制的共生関係というのは、自然界にも溢れている…というより、ほぼ全ての共生関係が実質この構図で成り立ちます。コミュニケーションによって契約を交わすことが出来ない生物たちが、勝手に相手の体を利用し、それが結果的に相手へと様々な損益をもたらす…というだけの話なので、そもそも共生と寄生に明確な境界はありません。イソギンチャクだって、カクレクマノミのこと普通に「なんやコイツ…勝手に俺の体に住み着きやがって…ウザ…」と思ってますよ。多分。

さて、スカートと寄生虫における寄生虫の振る舞いは「繁栄するエロ寄生虫」としてほぼパーフェクトだと自負していますが、今回はあえて、もう少し不完全な存在を描きたいと思っていました。

何故なら、生物というやつはそもそも「過剰に繁栄する必要などない」からです。世界に完全な生物はいませんので、こちらの方がむしろリアルなのではないでしょうか。

何も人間並みに増える必要なんてありません。というか、それは増えすぎですしね。増えすぎた生物は本来、餌が足りなくなって自滅する(人間がそうならなかったのは、稲作の発展……現代において最大の要因はおそらくハーバー・ボッシュ法……によって、増え続ける人口と家畜数を支える革命的な手法が編み出されてきた背景がありますね)ため、増えるのは程々で構いません。なんならお話的には、「これから先、やがて淘汰されるであろう存在」でも構わないわけです。

というわけで、ストッキングと寄生虫において「ハラクイムシ」は、「昭和までなら自然と生き残ってきただろうな～現代ではどうかな～淘汰されそうだけどな～」くらいのテンションで描いています。作中のハラクイムシ自体も実のところ日本原種ではなく、「明治くらいまでは日本原産の近似種が多くいたけど、そっちはいつの間にか姿を減らしてて、けど最近になって入ってきた外来種がちょっとひと騒動を起こしている…」みたいな感じですかね。

おそらく「歪んだ娯楽」として、一部外国人の間で密かに流行っていたものが持ち込まれ、それらが野生化してしまったのでしょう。それも男が、年端もいかない少女に「与える」形で、その少女の変転を楽しむものとして流行っていた…と考えると、その歪さがいっそう伝わるかと思います。

女性嫌悪を拗らせた男性たちが、歪んだ欲望によって女性性を貶めることが流行する…というのは、まあ、センシティブながら現代にも有り得そうな話ではあります。

ブラックバスみたいなポジション………と………という言い方は、流石に…あまりにも趣味が…

悪すぎますかね……すみません…。「人間の都合で持ち込まれ、人間の管理を外れて増えてしまった」という例も身近にありますよねということで…ご了承下さい…。

さて、そういった「遊び」が、なんと日本でもインターネット上にて密かに流行ってしまいました。

「ハラクイムシ」についての話題を提供することで「被害児童」を釣り上げて「飼う」という遊びです。

彼らはハラクイムシを胎内で飼っている児童をインターネット上で飼い、歪んだ知識を餌にして、煽情的な体験談や写真、動画などを収穫し、取り返しがつかなくなれば放逐、新たな獲物を探すのです。なんだか寄生虫より寄生虫っぽい！

…なお、今作中の「インターネットの倫理観」は、今より少し前、「悪いインターネット」が隆盛していた10～20年前くらいを下地にしています。皆が今より悪ふざけしていた頃、インターネットの「匿名性」が信じられていた時代です。

とはいえ、脚本上の都合で、アカウント名が存在するSNS上でのやり取りとなったので、あの頃ほど無法地帯にはなれませんね。劇中の彼らも、(現代社会がそうであるように)プライベートなチャットルームにわざわざヒロインを誘導しています。

インターネットの過渡期、これらから成る多くの犯罪は見逃され続けていた歴史があります。

ストッキングと寄生虫も、そんな世界観に倣うこととしました。

というわけで、現代においてはそのようなポジションで外来種がほそぼそと生き残っているハラクイムシなのですが、既に衰退したであろう日本原種も、大きくは似た性質の生物であろうことが想像できます。ハラクイムシに寄生された宿主は傍目にほぼ無症状と変わらない…潜伏期間が長く、宿主はその間に時間をかけてゆっくりと「バカ」になることで、周囲から忌避され、孤立していきます。孤立すれば、心配されることもなくなっていくでしょう。

かつてはそうして村八分にされ、親からも閉じ込められますが、そこは自分たちの娘ですから、親としても殺すわけにいかず、最低限の食事によって生かされ続けるのでしょう。そうして部屋の隅でゆっくりと膿を溜め…最後に、己の子どもたちのため、余力を振り絞って村の井戸やトイレに赤子をばらまいて力尽きるのです。

…頭は悪くなりつつも、人として最低限の知性は残っていたり、見た目には(特に顔が)美しいままであることは、一見不思議に映るでしょうが、とても重要です。

「人でさえなくなった」と周囲に思われてしまえば、村八分どころではなく、野に放逐されたり、最悪殺されてしまう可能性が上がります。あくまで、忌避される程度に留め、家族の手によって細々と生き残り、そして村から新たな感染者を獲得する必要がある。

……逆に、忌避くらいはされておいたほうが、都合が良いのでしょうか。

こんな虫が、生まれてくる女兒や雌牛、他哺乳動物達に野放図に寄生して増え続けてしまったら、すぐにその村は滅んでしまいます。村が滅べば、寄生虫だって死滅してしまう。つまり、寄生虫自身が存続するためにも、「寄生虫が増えすぎないように」する必要があります。

そういった、自然の淘汰の中で形成されたバランス感覚によって、ハラクイムシはおそらく、村社会が解体される明治～昭和初期までを人里で生き残ってきたのでしょう。

…そんな中、外来種のハラクイムシは、そうした性質を持ちつつも「女性に快感と幸福感を与える力がより強い」種が隆盛してきました。一部の女性たちが密かに寄生虫との蜜月に耽溺する一方で、それを知った変態たちの遊び道具ともなってしまいます。虫けらにあられもなく愛をささやき、交尾をねだる少女たちの、なんとおぞましくも美しいことか！
己の血を繋ぐことを放棄してまで、女性へ歪んだ愛憎をぶつける男性たちは狂気を通り越してもはや滑稽ですが、虫は勿論そんなことは気にしません。人間って、なんか俺等に都合が良いよな～～～と
思って種付けするだけです。

…以上が「ハラクイムシが現代に生き残っている理由」の説明となります。

つまり「ハラクイムシは、人間にとっての娯楽と愛玩の中間くらいのニュアンスで、とどのつまり人間の欲望によって現代まで生き残っている」というわけですね。多分海外では「虫にも権利を！」とかそういう女性運動があって気持ち悪がられたり、よりもよって変態男どもが味方したりして、色々問題になりつつ大枠では無視されてるんだと思います。まるで非現実的ですね。

実はもう一つ、寄生虫シリーズを描くに当たってきちんと考えなきゃと思っていた部分がありまして、それは「作中における「メス虫」の取り扱い」です。

寄生虫シリーズにおいて、女の子たちは自らを「メス虫」とであると認識していますが、それは実際のところただの錯覚であり、遺伝子学的には一切影響を及ぼせない、あくまでもただの「宿主」とあるというスタンスです。つまり、「寄生虫」達には、ちゃんとした本来のメスが存在します。

(作中でフィーチャーされないだけでね)

主観である女の子たちは、自分のことを「メス虫」とであると思い込んでしまうため、「寄生虫にオスしかいない」という奇妙な事実疑問を持つことさえありません。

ですが、当然の事実として、虫と人間で子供を作れるわけがありませんものね。

いや、そこはファンタジー設定で「うるせえ！！出来る！！」としても別に良かったし、
そういう設定も興奮する…っていうかなんならそういう設定のほうが本来は好きですよ…僕だって…。
が、「寄生虫シリーズ」においては「理屈を説明できないことはやめよう」と決めていました。
これは僕にとってとてもとてもと～～～っても頭を悩ませた問題です。

だって、「女の子が虫の精子で孕む」って、もっ…すっごい…イイ…じゃん……！

正直その一点で虫を描いていますよ。そりゃそうであって欲しい！！(カス)

……でも、どうしてもその仕組みを説明することが出来ないんですよ！！

「女の子が虫の精子で孕む」という状況は大好きだけどさあ！！色々難しいんですよ！！

「遺伝子が混ざって虫と人間の間みたいな生き物が生まれる」とか

「正常な生き物として生まれてこず、よく分からない変な死骸を産み落とす」とかもあんまり好きじゃないんですよ！！

前者は「そんな都合よく遺伝子が混ざっていい感じに生き物として生まれるわけないだろ！！」と
つい思っちゃうし、

後者は「いくらなんでも可愛そうだろ！！！！命をなんだと思ってるんだ！！！！」と

つい思ってしまいます！！

ちなみに、僕は「女体に卵を産み付ける」タイプの、実質百合じゃん系虫姦も、好みじゃありません。というか、好きも嫌いもないというのが正しいです。

「物語の人物達が辿った生き方は、自分にとって"アリ"か"ナシ"か」を考えるというのは、僕にとって大事なことなんです、女の子同士だけでアレコレされても、男は蚊帳の外なので…シンプルに、なんもコメントしようがないくないですか？

僕がその物語に何かを思う権利がない…というように感じてしまって、どうも…。

っていうか！「女の子」が！！「虫の精子」で！！「孕む」のが「好き」なんだっつってんだよ！！！！！！俺って、正直過ぎる…！！苦しい…！！自分の欺瞞を許せない”正義”の心が、もはや憎いよ…！！

……なので「孕んで何を産み落とすのか」と問われたら、「虫を産み落とす」しかないんです。これなら人間の遺伝子が完全に虫に屈服してる感じも出て一石二鳥！！やはりこれが一番！！

……いやでも実際問題、それって受精して遺伝子が混ざってるというより、単なる捕食じゃない？人間の遺伝子が介在する余地、どこにもない？単為生殖、あるいは無性生殖なのでは？と思った貴方！その通り！僕もそう思いました！でも、それもちよっと嫌なんです！何故なら、それは「セックス」ではないから！！「人間」と「虫」という全く違う生態の生き物にもかかわらず、「セックス」を通じて子孫を増やすという共通点があること、それゆえに繋がることが出来てしまうという歪さが好きで異種姦を描いていますので、そこを否定することは出来ません。本来わかりあえないオスとメスが、一瞬の狂乱によって心を通わせたかのように錯覚し、生涯の愛を誓うという愚かな行為が、どうしてもなく愛おしい…そうでなくては、とさえ思います。

……しかし、現実問題…人と虫では…子供は…うう…っく、苦しい…。

…というわけで、寄生虫シリーズにおいては妥協案で「劇中には目立たないものの虫のメスも存在しており、繁殖において実質的な遺伝子の交換を担っている」としています。

しかしそこはやはりヒロイン自身には、「自分の子供だ～～！私はメス虫になれたんだ～～！！」と欲して欲しい！！ので、劇中ヒロインがそれを知ることは絶対にありません。なんなら読み手も知らなくて良い。何より、自分が女ではなくただの巣であると知ってしまうのは辛いこと、女の子の自尊心を傷つけたくはないですものね。

そんなわけで、今作、ストッキングと寄生虫にも、実はメスの存在が描写されています。

しかし、オチにてははっきりとその存在を示唆したスカートと寄生虫と違い、今回は特にこうだと説明したりはしていません。ハラクイムシのメスは一体どんな存在なのか、どういうプロセスで子供を作っているのか、ぜひ考えてみてくださいると嬉しいです！嘘です考えなくていいです。どう考えてももっと考えるべきことがあると思います。

中々長くなってしまいました。そんなわけで、寄生虫シリーズにおいてのもう一つの問題

「虫のメス問題」について、ストッキングと寄生虫ではこのような方針を取ることにしました。

長々とお話してしまいましたが、このあとがきを通して何を伝えたかったかと言うと、要するに

「虫姦、結構やりきったな…」ということです。

虫と人間の交合について、自分なりに色々考え、こうした方がエロいんじゃないか、このアイデアは面白いんじゃないか、こうでなければおかしいんじゃないか…色々考えてきました。

勿論細部についてもっともっと考え抜くことは出来ると思うのですが、大枠、僕の技量や知識ではせいぜいこんなもんかな、と思えるところまで考えて、「次どうしようかな？」となった時、新しいアイデアがすぐに出てこなくなっていました。

エロ的に興奮出来て、かつ生命として違和感がない、僕の漫画に都合の良い最強寄生虫…なんてバカみたいな思索を繰り返してきましたが、一旦満足です。

またそのうち良いアイデアが出てきたら描くんだろうなとは思いますが、次は多分別ジャンルのエロ漫画を描くと思います。

昔描いてた商業エロ漫画みたいな、人間同士の、心と心で殴り合うようなエロ漫画を描きたいですね。ともあれここまで読んでくださった方(がもしこの世に存在したら)、本当にありがとうございます。気が向いたらこれからもお付き合い下さると嬉しいです。

…っていうか、ほんとに発売遅れすぎたんで、次は早めに完成させたいです。